

高木美「銀」



女子1500mで2位になった高木美帆＝12日、江陵オーバル、細川卓撮影

スピードスケート女子1500m

平昌冬季五輪第4日は12日、スピードスケート女子1500mがあり、高木美帆（日体大助手）が1分54秒55で2位に入り、銀メダルに輝いた。スピードスケート女子の個人種目で、日本勢の銀メダルは史上最高。表彰台に立った高木美は「改めて1番を取れなかった悔しい気持ち

がこみ上げてきた。自分の中で（五輪の）最高順位を取れたのは誇りに思う」と話した。北海道幕別町出身。2010年バンクーバー五輪に15歳で出場して「スーパードルフィン」と呼ばれたが、14年ソチ五輪は代表選考会で敗れて出場できなかった。2大会ぶりに大

舞台に戻り、10日の3000mでは5位に終わったが、1500mは今季のワールドカップ（W杯）4戦4勝で、優勝候補に挙げられていた。金メダルは高木美に0秒2差をつけたイレイン・ブスト（オランダ）。小平奈緒（相沢病院）は6位に入賞した。菊池彩花（富士急）は16位だった。



朝日新聞



Japanese Paralympic Committee

JOC・JPC オフィシャル新聞パートナー

がんばれ!ニッポン!

朝日新聞は、平昌2018冬季オリンピック・パラリンピック
日本代表選手団を応援しています。